

## ✧ 海外ニュース ✧

ドイツ 2022年2月7日 ドイツ連邦道路交通研究所 (BAST)

### ■ FGSVの規定に準拠した BIM 手法の適用と IT-K (連邦と州の道路技術情報システムの調整)

Anwendung der Methode BIM in Konformität mit den Regelwerken der FGSV und des IT-Ko

連邦交通・デジタルインフラ省は、建設と保全事業のデジタル化に向けて段階的に計画を行うことで、道路建設におけるビルディング・インフォメーション・モデリング (BIM) の包括的な活用を求めている。道路建設などに向けた BIM におけるプロジェクトで利用する部品、製品等の標準データの作成は、インフラプロジェクトにおける BIM 手法を統一的に適用するための最初の基盤となるものである。

アメリカ 2022年2月10日 WICU-TV/WSEE-TV

### ■ ペンシルベニア州内の複数の州間高速道路の橋、有料化の検討へ

Bridge Tolling Could Be A Reality On Some PA Interstates

「既存の予算の水準では、橋梁を適切に維持保全することや架替えを行うことがとにかく厳しいです」と、ペンシルベニア州交通局で別の資金調達方式を進める担当者は述べた。「年間 81 億ドルも資金が不足しているのです」。従って、官民連携 (P3) 理事会による『主要橋梁 P3 計画』の承認を得て取組みを進めている。

ドイツ 2022年2月15日 Zeit オンライン版

### ■ 2021年の渋滞の収支決算：今や余暇は車に乗る時間に

Staubilanz 2021 : Freizeit ist jetzt Autozeit

交通渋滞が 2021 年に再び増加した。これは、人々がリモートワークからオフィスワークに戻ったという理由だけでは説明しきれない。その他にも変化があり、それは交通の動きを恒久的に変える可能性がある。2021 年、ドイツの人々は、週末に 2020 年よりも多く車を運転し、それはパンデミック前の 2019 年よりも多かった。土曜日における交通量の増加は、パンデミック期間中に小包の配達が増加したことによるものと、部分的に説明は可能だ。しかし日曜日の交通量は、2019 年対比の増加率が土曜日よりも高かった。これは週末の増加の大部分はレジャーに出かけるための運転が増加したものと考えられる。

スペイン 2022年2月15日 CincoDías オンライン版

### ■ 運輸省、2026年末にアベルティス管理の AP68 号線の料金所のバーを上げるための準備を開始

Transportes lanza los preparativos para levantar barreras en la AP-68 de Abertis a finales de 2026

運輸省 (Mitma) は、高速道路の通行料金徴収廃止の手続きを再度行う。これは、アベルティスが管理する AP68 号線に関するもので、コンセッション権の返還日は 2026 年 11 月 10 日とまだ先の話であるものの、政府は既にコンセッション期間の延長や再入札を行わないことを通知している。政府は、交通分析や、将来料金徴収を廃止することで移動状況にどんな影響を与えるかについての分析を進めておきたい意向だ。

イタリア 2022年2月17日 Il Sole 24 ore

### ■ ジェノバの高架橋崩落：イタリア・アウトストラデー社 (ASPI) および、保全作業を担当した SPEA 社のかつての最高経営責任者カステルッチ氏と 58 人の被告を起訴

Ex vertici Aspi e Spea Ponte Genova : chiesto rinvio a giudizio per Castellucci e 58 imputati

2018 年 8 月に発生し 43 人の犠牲者を出したモランディ橋崩落事故の予備審問で、11 回にわたる公聴会の後、

検察官は、ASPIとSPEAの2社に加えて、ASPIおよびアトランティアの前CEOであるジョヴァンニ・カステルッチ氏とその他58人の被告を起訴した。起訴理由には、多重過失致死、道路殺人、過失災害、交通安全の妨害、故意の崩壊、故意の安全装置の撤去、公式文書の偽造または省略など、多数挙げられている。被告となっているのは、ASPIとSPEAの前経営者および、インフラ省と監督官庁の管理職である。

インドネシア 2022年2月17日 Tempo.Co

### ■ 2022年末に新しい道路料金支払いシステムが始動

New Toll Road Payment System to Be Applied in Late 2022

公共事業・国民住宅省高速道路統制庁（BPJT）のダナン長官は、新しい支払いシステムは、衛星測位システムを利用して支払いを行うスマホアプリ『Cantas』を使うものだと述べた。アプリをダウンロードする際、ドライバーは支払い方法を選択する前に、ナンバープレートや車体番号などの車両情報を入力する必要がある。

スペイン 2022年2月19日 El País オンライン版

### ■ スペイン政府、AP7号線の通行料金徴収の廃止によりアベルティスに10億7,000万ユーロを支払う予定

El Gobierno pagará 1,070 millones a Abertis por el fin de los peajes de la AP-7

この金額は、ACSとアトランティアの子会社である高速道路コンセッション会社のアベルティスが主張する42億ユーロからは程遠い額だ。アベルティスは、2006年サパテロ内閣の時代に、アルバレス大臣が率いる当時の振興省と、交通量の減少に対する補償契約を結んでおり、これを根拠としている。

アメリカ 2022年2月23日 13 News Now

### ■ ハンプトンローズ橋トンネル拡張工事は順調に進行中、バージニア州交通省が発表

VDOT says progress with HRBT expansion project being made

このトンネル拡張工事は、バージニア州で歴史上最大のインフラプロジェクトだ。交差路を4車線から8車線に拡げるもので、一部区間には走行可能な路肩を設置しピーク時に活用される。州道路局は、トンネルのコンクリート壁が概成しつつあると述べた。

フランス 2022年2月25日 Eiffage

### ■ エファージュ、高速道路A40号線のBiophalt®技術の実装に対して土木業連合会（FNTP）の「2022年公共事業賞」のグランプリを受賞

Eiffage reçoit le Grand Prix des Trophées 2022 de la FNTP pour la mise en œuvre de sa solution Biophalt® sur l'autoroute A40

この受賞は、エファージュ・ルート社製の植物性アスファルト舗装材であるBiophalt®を、傘下のAPRRが運営する高速道路A40号線の一区間で2020年10月に施工し、脱炭素に向けた高速道路の開発の取組みに貢献したことを認められたものです。コンセッション方式で運営される高速道路上での植物由来の低炭素舗装材を使用したこの試験施工は、自社が運営する高速道路網の工事現場における環境負荷を抑えたいというAPRRの意志から生まれたものであり、フランス国内では初めての試みです。

イタリア 2022年2月25日 Il Sole 24 ore

### ■ 高速道路のトンネル、橋、高架橋の改修を行うインフラ会社のRewayが誕生

Infrastrutture, nasce Reway : focus sul risanamento di gallerie, ponti e viadotti autostradali

一般道および高速道路のインフラ補修の分野で、イタリア最大の事業者Rewayグループが生まれた。専門はトンネル、橋梁である。このRewayグループは、イタリアの名門実業家ルッチーニ・ファミリーが100%管理

するもので、Mga Manutenzioni Generali Autostrada, Soteco, TlsTecnologia の道路工事部門の株式譲渡から生まれた。

アメリカ 2022年3月2日 IBTTA

■ 2022年冬の異常気象は、気象による道路交通の混乱がより頻繁かつ深刻になりつつあることへの警鐘だ

Winter of 2022 Is A Wake Up Call About More Frequent and Severe Weather Disruptors of Roadways

最近何度も激しい嵐が発生したことを考慮し、国際有料道路協会（IBTTA）は、過去の事例から学んだ教訓と研究に基づき、災害の管理と対応における成功事例と重要成功要因をまとめた新しい報告書を公表した。

アメリカ 2022年3月8日 Pittsburgh Post-Gazette

■ ピッツバーグ、ファーン・ホロー橋の架替え工事は4月末開始か

Construction of Fern Hollow Bridge replacement could begin in late April

州道路局は緊急宣言を行い、通常では設計が完了した後に工事の入札を行う契約行程を、架替え工事を早く完成させるため、設計者・施工請負業者が連携して作業できるよう、これら業者をあらかじめ選定した。

ドイツ 2022年3月10日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ 橋梁サミット：アウトバーン橋梁4,000基を2030年までに更新

Brückengipfel : 4000 Autobahnbrücken sollen bis 2030 modernisiert werden

「橋梁を更新する速度を2倍にする必要がある」とヴィッシング連邦交通相は述べた。アウトバーンにおいて年間200基ではなく400基の橋梁を処理していくという。橋の損傷評価には、今後は荷重指標と呼ばれる新たな基準が使われる。インフラの長期保全のため、交通省は従来の点検評価手法に加えて、新たに構造物デジタル診断法を活用し、連邦道路交通研究所（BAST）内に橋梁更新の中核的研究拠点を設立する。

フランス 2022年3月11日 ATMB

■ クリューズ（高速道路A40号線）：パッシー～レマン湖の生態系継続に貢献するため、ATMBはアルヴ川河床の再整備と魚類の通過を助ける入口を設置しています

Cluses (A 40) : ATMB réaménage le lit de l'Arve avec des seuils facilitant le passage des poissons pour contribuer à la continuité écologique entre Passy et le lac Léman

クリューズ（オート・サヴォワ県）の高速道路で、当社はレマン湖からアルヴ川へ遡上する魚たちにとって厳しい高低差を解消するための5つの出入口の建設と併せて、アルヴ川河床の再整備を行っています。ヴィリーやアロントンに設置している野生動物用通路の整備と同様の取組みです。なお、本プロジェクトに対するATMBの投資額は45万ユーロに上りますが、このうちローヌ地方・地中海・コルシカ島水資源機構が18万3,233ユーロ支援している。

スペイン 2022年3月11日 Cinco Días オンライン版

■ OHLA社、コロンビアで高速道路に3億1,500万ユーロを投資しコンセッション事業を再活性化

OHLA reactiva su negocio concesional con una autopista en Colombia de 315 millones de inversión

コロンビアでの契約はインフラ庁からのもので、OHLAは建設共同事業体に50%出資している。残り半分は現地企業テルモテクニカ・コインドゥストゥリアル社が出資している。両社が担うのは、ボゴタ市への出入りを改善する「北連絡道路第二」高速道路で、ボゴタ市からコロンビア北部地域への接続も向上が見込まれる。